



# 美しい 県土づくりNEWS

2014年  
2月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 115 号  
平成 26 年 2 月 27 日発行  
編集 県土整備企画室



## 三陸復興

### 目次

- 2 災害公営住宅整備状況
- 3 復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手を開催しました！
- 5 「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催！
- 6 「いわてポートセミナー2014」を開催！
- 7 大槌川河川災害復旧仮堤防工事安全祈願祭開催
- 8 いわて花巻空港 台湾への定期チャーター便決定！
- 9 いわて花巻空港 2014 上期航空ダイヤ決定！

## 災害公営住宅「県営平田アパート」完成！

～ 災害公営住宅 県営第1号 ～

県が釜石市平田地区(旧県立釜石商業高校跡地)に整備を進めてきた災害公営住宅が平成 26 年 1 月に完成しました。

県営の災害公営住宅としては第1号となるもので、7階建て126戸の規模は、これまで県内に完成した災害公営住宅のなかでは最大です。

建物は、バリアフリー仕様で、遮音性や断熱性を確保するなど、誰もが安全で快適に生活できるように配慮しています。また、団地内には、備蓄倉庫を設けるなど、地域の防災拠点としての役割も担っています。

入居は、既に2月1日から始まっています。被災された方々の暮らしの安定や、地域の復興につながることを願っています。



## ◆災害公営住宅整備状況◆

### 建築住宅課

東日本大震災津波からの復興に向け、災害公営住宅の整備が本格化しています。

今年1月には、木造の「野田村門前小路第2地区」、県営第1号の「釜石市平田地区」が新たに完成しました。また、完成・工事中の12地区に加え、年度内にはさらに5地区で発注を予定しており、年度末までに工事発注ベースで約1,000戸（累計）の進捗に達する見通しです。

被災者の一日も早い住宅確保のため、引き続き早期整備に向けて取り組んでいきます。



野田村門前小路第2地区（H26.1月完成）※野田村に引渡済

#### ■現在の整備状況（H26.1月末現在）

##### ○計画戸数

全体整備戸数	県整備戸数	市町村整備戸数
6,038戸	2,850戸	3,188戸

##### ○全体の進捗状況（県整備分）

整備計画	地権者内諾済	設計発注済	工事発注済	完成
2,850戸	2,251戸	2,028戸	851戸	218戸

##### ○工事の状況（県整備分）

###### 【完成済の箇所】

市町村	地区名	構造	戸数	着工	完成
野田村	門前小路第1	木造2階建	8	H24.11.15	H25.3.25
	門前小路第2	木造平屋建	18	H25.4.19	H26.1.15
大槌町	吉里吉里	RC造5階建	34	H24.10.24	H25.8.19
釜石市	平田	RC造7階建	126	H24.9.13	H26.1.24
	野田	RC造5階建	32	H24.9.13	H25.10.17

###### 【工事中の主な箇所】

市町村	地区名	構造	戸数	着工	完成予定
山田町	豊間根	鉄骨造3階建	72	H25.7.16	H26.5頃
大槌町	屋敷前	RC造5階建	151	H25.7.16	H27.3頃
大船渡市	下欠	RC造3階建	33	H25.10.26	H26.9頃
	上平	RC造7階建	65	H25.12.10	H27.5頃
	長谷堂	RC造3階建	53	H25.12.10	H27.3頃
陸前高田市	中田	RC造8階建	197	H25.10.26	H27.6頃
	柳沢前	RC造3階建	28	H25.10.26	H26.11頃



釜石市野田地区（H25.10完成）  
※釜石市に引渡済



山田町豊間根地区（H26.5完成予定）



大船渡市綾里地区（H26.3着工予定）  
※設計施工一括選定方式



陸前高田市中田地区（H25.10着工）



大船渡市上平地区（H25.12着工）

# 『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手』を開催しました！

～本格復興へ向け 応援職員が復興を熱く語る～

**県土整備企画室  
建設技術振興課**

平成26年2月6日から7日の2日間、東日本大震災津波からの復旧・復興現場における取組事例の発表等を通じて、復興の現状や課題を共有し、広く県内外に情報発信することを目的に、盛岡市において『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手』を開催しました。

本シンポジウムでは、他府県からの応援職員等が岩手県での取組内容を発表したほか、被災3県の現状報告、応援職員によるトークセッションを行いました。

当日は応援職員を派遣いただいている派遣元の都府県の職員をはじめ約250名が参加し、立見が出るほどの盛況で、参加者は応援職員の復興への熱い思いに触れ、本格復興へ向けて思いを新たにしました。

初日の様子をご紹介します。



## 応援職員による取組発表

各都府県から岩手県に派遣されている応援職員8人が、県内での住宅復興の取組や河川・海岸の災害復旧・津波対策施設の復旧など、土木技術を中心に発表を行いました。

このうち、静岡県の派遣職員である建築住宅課の山口主査からは、岩手県での住宅復興の取組経験を踏まえて、今後静岡県が災害に備え準備しておくべきこととして、用地対策として応急仮設住宅を2階建にするなど、いくつかの提案がなされました。

大船渡土木センターの富山主査、川端技師、上田技師（大阪府派遣）からは、「復興事業への戸惑いと取組課題について」と題し、大阪府との言葉や業務の仕組みの違いなどをユーモアを交えて紹介しながら、携わる道路整備事業の状況や課題について語っていただきました。

また、地域への支援として、大阪府の高校生を招き地元との交流活動を行うなど、業務以外の活動なども熱く語っていただきました。



建築住宅課 山口主査(静岡県)



沿岸土木 八木主査(静岡県)



沿岸土木 岩本技師(東京都)



大船渡土木 川端技師, 上田技師, 富山主査(大阪府)



大船渡土木 中島技師, 石本主任(大阪府)

講演「被災3県の復興の取組と課題について」

今年度は、昨年度から被災3県で順次開催している東北復興フォーラムとして、被災3県の復興の進捗や課題について各県の土木部長等が講演を行いました。

宮城県土木部の遠藤部長からは、復興まちづくり事業について、具体事例を紹介しながら説明が行われたほか、岩手県と同様、施工確保やマンパワー不足などの課題に向けた取組みについて説明がありました。福島県土木部の渡辺部長からは、被災直後の放射線への対応の緊迫した様子や浜通りの復旧・復興の状況について説明が行われました。



岩手県 佐藤県土整備部長



宮城県 遠藤土木部長



福島県 渡辺土木部長

応援職員によるトークセッション ～助っ人たちが語る岩手・復興への熱い思い～

現在岩手県に派遣中の応援職員3名と平成24年度に派遣されていた元応援職員3名に参加いただき、トークセッションを行いました。タレントのふじポンさんを司会進行に、派遣のきっかけや岩手での生活・思い出を紹介いただいたほか、復興への取組や課題について熱く語っていただきました。

このうち、建築住宅課で災害公営住宅を担当する高橋技師(川崎市派遣)からは、建設用地が少なく苦労している点などが語られたほか、元応援職員の愛知県の松浦主査からは、震災の記憶の風化への懸念や復興の現状を伝えることの意義などが語られました。

一緒に登壇した佐藤県土整備部長は、「応援職員の活躍は心強い。復興は緒に就いたばかり。歴史を刻む仕事をともに一緒に頑張りたい。」と話しました。



建築住宅課 高橋技師 (川崎市)



宮古土木センター 福澤主査 (長野県)



大船渡土木センター 八尾主査 (大阪府)



静岡県 山本主査



愛知県 松浦主査



大阪府 伊藤主査



# 「建設業新分野・新事業発表フォーラム」を開催！

建設技術振興課

平成26年1月30日、「平成25年度建設業新分野・新事業発表フォーラム」を盛岡市のエスポワールいわてで開催しました。

本フォーラムは、県内建設企業の経営体質の強化への取組み意欲を喚起し、構造改革の推進を図ることを目的に、平成15年度から開催してきました。

フォーラムでは、建設業新分野進出等表彰式を行い、最優秀賞2社、優秀賞1社を表彰し、続いて、「愛される地域ブランドを目指して～ベアレンビール10年の取り組み」講師：(株)ベアレン醸造所 代表取締役 木村剛氏（盛岡市）による基調講演と、授賞企業3社による事業のプレゼンテーションを行いました。

また、新分野進出企業による商品・事業のPRブースを設置し、今回授賞した事業のパネル展示を行うとともに、過去の授賞事業のパネル紹介や、経営相談コーナーにおいて、建設企業に対する経営相談会を実施しました。



新分野進出等表彰

## 最優秀賞

(株)オリテック21: 鋳物製排水工事事業

ACサカモト(株): 不動産業及び住宅関連産業

## 優秀賞

(株)平野組: 自然エネルギー事業



基調講演（木村剛氏）



商品・事業PRブース

# 「いわてポートセミナー2014」を開催！

港 湾 課

平成 26 年 1 月 31 日、東京都内のホテルで県主催による「いわてポートセミナー2014」を開催しました。

本セミナーは、首都圏にある荷主企業や船社等に向けて、本県港湾の活用や臨海部工業団地への企業立地を強くPRするために毎年実施してきたものであり、今回が12回目の開催となります。

今回のセミナーでは、達増拓也知事が「ビジネスチャンスが広がる『復興いわて』」と題し、国際リニアコライダーの誘致をはじめとする、本県の東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた取組を紹介した後、戸田大船渡市長、野田釜石市長、山本宮古市長、星久慈市副市長が、各市所在港湾の利用状況や助成制度などについて紹介しました。

当日は、昨年の開催を大幅に上回る多くの企業の方々にご出席いただき、本県の港湾利用に向けた取組に熱心に耳を傾ける姿が見受けられました。また、セミナー終了後の情報交換会では、参加企業と本県の港湾関係者による積極的な情報交換が行われました。

共催：岩手県港湾協会、久慈湾総合開発促進協議会、宮古港利用促進協議会、釜石港湾振興協議会、大船渡港振興協会



達増知事プレゼンテーション



大船渡市長プレゼンテーション



釜石市長プレゼンテーション



宮古市長プレゼンテーション



久慈市副市長プレゼンテーション

## 本県の重要港湾



大勢の方々が出席されたセミナー会場の様子

## 大槌川河川災害復旧仮堤防工事 安全祈願祭を開催

～ 大槌川水門の関連工事に着手 ～

河川課

### 【工事安全祈願祭】

平成 26 年2月4日、大槌町大槌地内において「二級河川大槌川河川災害復旧仮堤防工事」の安全祈願祭が開催されました。

本工事は、大槌川に新たに整備を予定している「大槌川水門」の工事に先立ち、河川を切り回すための仮堤防工事を行うものであり、大槌川水門に関連する工事としては、初めての工事着工となります。

安全祈願祭には、施工業者、町、県、国等の関係者約 30 名が出席し、鍬入れや玉串奉奠などの神事が行われました。

施工業者である株式会社小原建設からは、「震災直後から沿岸各地で復旧工事などを行ってきており、今後も、被災地の早期復旧・復興に取り組んでいきたい。」との決意が述べられました。



神事（鍬入れの儀）の様子



神事（玉串奉奠）の様子

### 【大槌川水門の概要】

大槌川は、チリ地震津波（S35）を契機として、高さ T.P.+6.4mの河川堤防の整備を行い、平成 20 年度までに完成していました。しかし、東日本大震災津波により堤防を越流した津波が背後の市街地に流れ込み、甚大な被害が発生しました。東日本大震災津波の被害を受け、隣接する小槌川水門とともに大槌川にも高さ T.P.+14.5mの水門を整備することとしています。

### 【おわりに】

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事が進められ、一日でも早く完成することを目指し、大槌町など関係機関との連携を図りながら復興事業が加速できるよう取り組んでいきます。

# いわて花巻空港 台湾への定期チャーター便決定!!

～ 開港以来初の国際定期チャーター便 ～

空港課

いわて花巻空港では初となる、台湾との間で週2便（日曜日・木曜日）、日本人と台湾人を混乗させて運航する定期チャーター便が、4月17日から6月19日までチャイナエアライン（台湾）により運航されることが決定しました。

県では、国際定期便の就航の実現に向けて、この定期チャーター便の利用促進に取り組んでまいります。

### 【定期チャーター便の概要】

運航会社：チャイナエアライン（台湾）

運航期間：平成26年4月17日（木）～6月19日（木）の週2便（日・木曜日）

（花巻16：10着、17：40発）

運航機材：ボーイング737-800型（158席）

供給座席：岩手側から毎便75席 合計1,350席

岩手とも縁のある台湾へぜひこの機会に訪れてみませんか？



2014年4月17日～6月19日  
定期チャーター便就航 いわて花巻 ↔ 台北

岩手県 岩手県空港利用促進協議会 台湾観光局  
写真はイメージです。写真撮影は許可を要します。



# いわて花巻空港 2014上期航空ダイヤ決定!!



～ 福岡線の機材が大型化！ 新たに乗継割引運賃が設定！ ～

空港課

日本航空株式会社、(株)フジドリームエアラインズより2014年度上期(2014年3月30日～10月25日)のいわて花巻空港の航空ダイヤが発表されましたので、お知らせします。

札幌線、大阪線は1日4往復、名古屋線は1日3往復、福岡線は1日1往復と開港以来最多便数を運航した2013年上期実績と同様の運航ダイヤとなりました。さらに、福岡線は機材の大型化、日本航空の各路線(札幌、大阪、福岡)を經由した乗継便に新たに乗継割引が設定され、日本各地へのアクセスが容易になる等更に利便性が向上しました。ぜひ、この機会にいわて花巻空港をご利用ください。

■札幌(新千歳)線(JAL)

花巻発	札幌着	札幌発	花巻着
9:00	⇒ 9:55	7:35	⇒ 8:30
14:05	⇒ 15:00	12:40	⇒ 13:35
15:25	⇒ 16:20	14:00	⇒ 14:55
18:25	⇒ 19:20	17:05	⇒ 18:00

①8/1-31は5分早発。

■名古屋(小牧)線(FDA)

花巻発	名古屋着	名古屋発	花巻着
9:00	⇒ 10:15	7:20	⇒ 8:30
16:25	⇒ 17:40	14:45	⇒ 15:55
18:50	⇒ 20:05	17:10	⇒ 18:20

■大阪(伊丹)線(JAL)

花巻発	大阪着	大阪発	花巻着
10:00	⇒ 11:35	8:05	⇒ 9:30
②12:35	⇒ 14:05	③10:45	⇒ 12:10
17:30	⇒ 19:00	15:25	⇒ 16:50
④18:40	⇒ 20:10	⑤16:45	⇒ 18:10

②7/1～10/25は15分早発。

③7/1～10/25は20分早発。

④7/1～9/30は5分遅発。

⑤7/1～9/30は5分遅発。

■福岡線(JAL)

花巻発	福岡着	福岡発	花巻着
14:15	⇒ 16:25	11:50	⇒ 13:45

⑥7/1～9/30は5分遅発(到着は同時刻)

⑦7/1～9/30は5分遅着(出発は同時刻)

乗継便も便利に！

■福岡線(大阪伊丹乗継便)(JAL)

花巻発	福岡着	福岡発	花巻着
12:35	⇒ 15:45	8:45	⇒ 12:10

■福岡線(名古屋小牧乗継便)(FDA)

花巻発	福岡着	福岡発	花巻着
9:00	⇒ 13:00	13:30	⇒ 18:20

■高知線(名古屋小牧乗継便)(FDA)

花巻発	高知着	高知発	花巻着
9:00	⇒ 12:10	12:40	⇒ 15:55

■宮崎線(大阪伊丹乗継便)(JAL)

花巻発	宮崎着	宮崎発	花巻着
17:30	⇒ 20:45	9:05	⇒ 12:10

■沖縄(那覇)線(大阪伊丹乗継便)(JAL)

花巻発	沖縄着	沖縄発	花巻着
12:35	⇒ 17:00	12:15	⇒ 16:50

※この他、札幌經由の女満別、大阪伊丹經由の出雲、大分、長崎、鹿児島、福岡經由の沖縄、名古屋小牧經由の福岡、熊本、などへの乗り継ぎ便もございます。



乗継便も  
ますます便利に！